

令和3年第3回加西市教育委員会会議録

- 1 開会日時 令和3年3月29日(木) 14時00分
- 2 閉会日時 同 日 15時33分
- 3 開催場所 加西市役所 1F 多目的ホール
- 4 出席者 教 育 長 民 輪 惠
委 員 沼 澤 郁 美
委 員 楠 田 初 美
委 員 中 川 和 之
委 員 深 田 英 世

5 上記出席者及び傍聴人を除き、会議に出席した者の氏名

教育部長	本 玉 義 人
次長兼教育総務課長	今 西 利 夫
教育委員会次長（文化財担当）	森 幸 三
教育委員会課長（施設担当）	井 上 英 文
学校教育課長	安 富 重 則
こども未来課長	伊 藤 勝
生涯学習課長	松 本 富 美
総合教育センター所長	常 峰 修 一
図書館長	藤 川 貴 博
教育総務課長補佐兼総務係長	松 田 ちあき

地方教育行政組織及び運営に関する法律第14条第3項に定める定足数に達していることを確認し、議事に移る。

6 付議事項

- 議案第7号 加西市指定有形文化財の指定解除について
- 議案第8号 加西市文化財審議委員の委嘱について
- 議案第9号 社会教育推進員の委嘱について
- 議案第10号 学校医・学校歯科医・学校薬剤師の委嘱について
- 議案第11号 学校医等の委嘱について
- 議案第12号 加西市教育委員会事務局及び学校その他の教育機関の職員の人事異動内示について

議案第 13 号 加西市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則の制定について

7 議題となった動議を提出した者の氏名

教育長より、本日の議案第 12 号については人事案件であるため、加西市教育委員会会議規則第 15 条第 1 項ただし書の規定に基づき、非公開とすることを諮り、出席者（4 名）の全会一致で承認を得る。

会議の進行上、先に他の付議事項から日程第 13 の「その他」までを終了した後、休憩を挟み、非公開で審議する。

8 質問及び討議の内容

議案第 7 号 加西市指定有形文化財の指定解除について

教育委員会次長より説明する。文化財の保護に関する条例第 4 条及び第 19 条の規定により、市指定の解除をしたいので委員会の議決を求める。

教育委員会から加西市の文化財審議委員会への諮問と文化財審議委員から教育委員会に対する答申資料を記載。今回の対象文化財名称は木造阿弥陀如来立像。北条町小谷区にある。これは令和元年 7 月 23 日定例教育委員会にて議決され、市指定文化財となっている。先般、新聞報道もあったが、令和 3 年 3 月 19 日付で県の指定文化財となったので、市指定を解除するものである。県指定の報道の際に使われた資料も添付している。

教育委員からの質問及びの教育委員会次長の回答

- ・令和元年 7 月に提出されすぐに解除ということで、何か問題があったのか。
(回答) 問題というわけではなく、1 つ上の県指定文化財へランクアップを目指し、市指定となった以降から県教委と調整を続けており、県の事前審査でもいいだろうと回答を頂いていた。令和 2 年 6 月に小谷区長から兵庫県教育委員会へ県指定に対する申請書が提出され、県の分科会の審議委員が 10 月に現地へ来て詳細に見ている。その後、県の文化財審議委員会へ諮られて、県指定の答申を頂いている。そして、3 月 19 日付で県指定文化財となった。
- ・市はこの文化財に手を出せないということなのか。
(回答) 県の指定文化財については、所有者から何か展示会のために移動をしたいという申出があった場合、市教育委員会を經由し県教育委員会へ諮っていく。絶えず

市教委も関わりながら進めることになる。

- ・経費はほとんど県が出すということか。

(回答) 例えば修理するのであれば、県指定の文化財なので当然県が出す。それから、随伴補助があり、県と市、それから所有者の三者で持ち出していく。

- ・市と県とは割合はどうか。

(回答) 割合で言うと3分の1ずつになる。

議案第8号 加西市文化財審議委員の委嘱について

教育委員会次長より説明する。文化財の保護に関する条例第18条の規定により、次の者に文化財審議委員を委嘱したいので委員会の議決を求める。昨年10月の定例教育委員会で文化財審議委員全員の更新について議決を頂いたが、井上舞委員については所属している神戸大学から、任期を令和3年3月末までにしてほしいという申出があり、委嘱期間を変更して委嘱していた。しかし、4月1日以降も引き続き神戸大学に所属することが決定したということで、残任期間となる令和3年4月1日から残りの令和4年9月30日まで、改めて文化財審議委員として委嘱したい。

議案第9号 社会教育推進員の委嘱について

生涯学習課長より説明する。社会教育推進員設置要綱第3条及び第4条の規定により、社会教育推進員に次の者を167名、それぞれ区長と自治会長の推薦の上、委嘱をしようとするものである。任命期間は令和3年4月1日から令和4年3月31日までの1年間。

教育委員からの意見及びの生涯学習課長の回答

- ・今年ではないが、社会教育推進員も事業をしたいのだが、コロナの関係でなかなかできない等の相談が教育委員会の方へもあるかもしれない。その折には配慮あるご回答をしていただければありがたいと思う。よろしくお願いしたい。

(回答) 了解した。ご意見に感謝する。

議案第10号 学校医・学校歯科医・学校薬剤師の委嘱について

学校教育課長より説明する。学校保健安全法第23条の規定により、加西市立学校の

学校医、学校歯科医、学校薬剤師に次の者を委嘱したいので、委員会の議決を求めるものである。

令和3年度の各学校の学校医、学校歯科医、学校薬剤師については、それぞれ加西市医師会、歯科医師会、薬剤師会からの推薦を受けており、記載のとおり委嘱したい。令和3年度に新規で入る方は、学校医で3名、学校歯科医はなし、学校薬剤師は1名が推薦変更と報告いただいている。

議案第11号 学校医等の委嘱について

こども未来課長から説明する。認定こども園も小中学校と同様、学校保健安全法を準用するため、同法23条の規定により、次の者を委嘱したいので委員会の議決を求める。任期は令和3年4月1日から令和4年3月31日。こちらも医師会等に推薦をお願いし、委嘱をお願いするものである。

園医については、加西こども園の八木様が今回新たに委嘱される。その他の園医、歯科医、薬剤師については昨年から引き続きとなる。

議案第13号 加西市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則の制定について

次長兼教育総務課長より説明する。加西市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則を別紙のとおり制定したいので、委員会の議決を求める。改正内容は、令和3年4月1日付で教育総務課に給食係が置かれることとなったため。

規則の第1条の課、係の表に「給食係」を明記し、別表に給食係とその事務内容について書き加える。また、あわせて教育長訓令の加西市教育委員会事務局庶務規定についても、「給食係」を書き加える改正を行う。

教育委員からの意見や質問及びの次長兼教育総務課長の回答

- ・この1月から南部給食センターが新しくなり、2センター制と大きく中身も変わってきている。教育長も食育ということで、子どもたちの健康やそのもとになる食ということを非常に大切にされている。今まで教育委員会の中に給食係がなかったことは残念だったが、新たに係がつけられることで学校やこども園との連携を含めて良い体制ができると期待している。子どもたちの食育、地産地消を含めしっかり頑張っただけだったらありがたいと思う。どうかよろしくお願いしたい。
- ・1点だけ伺いたい。ずっと言っていることだが、給食の公会計化についてはこの給

食系の職務の中に入っているのか。

(回答) 特に規則の中で会計のことは明記されていないが、学校給食全般を給食係が見ることになっているので、当然公会計もその職務に入っている。

8 議決事項

議案第7号 加西市指定有形文化財の指定解除について

原案どおり可決

議案第8号 加西市文化財審議委員の委嘱について

原案どおり可決

議案第9号 社会教育推進員の委嘱について

原案どおり可決

議案第10号 学校医・学校歯科医・学校薬剤師の委嘱について

原案どおり可決

議案第11号 学校医等の委嘱について

原案どおり可決

議案第13号 加西市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則の制定について

原案どおり可決

9 報告事項

教育長

前回、2月25日の定例委員会以降の活動について報告する。

翌26日、市議会本会議第1日目に出席。3月1日月曜日には日ノ本学園の学長が来

訪され、幼児教育の人材育成をしている当大学と加西市とで包括連携協定を結ぶという提案を頂いた。今、市長部局で検討している。

2日は定例校長会に出席。その席で私が特に強調したのは外国語教育のあり方についてである。外国語教育とは、単なる文法やボキャブラリー、つまり語彙や発音の修得というテクニカルな部分だけではない。その言語の奥に広がる文化や論理性の違いというものを幼い頃から体で感じ、世界の多様な価値観を吸収することが重要である。教師もネイティブのALT、英語の先生と連携し、授業をもう少しALTに任せて、子どもたちがもっとじかに英語で話せるようにした方がいいのではないかと問題提起をさせていただいた。

子育てのサポートをする特定非営利活動法人まーぶるキッズという団体があり、3日にその代表の方と面談した。加西市における療育のあり方や今後のあり方について意見交換を行った。5日には加西特別支援学校高等部の卒業式があったが、コロナ禍で来賓は招かないことになっており、私も出席できなかった。ただ、みんな無事に卒業してくれた。8日は市議会本会議第2日、10日は第3日、12日には予算決算常任委員会総務分科会に出席をした。

16日は社会教育委員会、続いて図書館会議に出席した。図書館会議では、図書館をどのように活性化していくかということがテーマに上った。私は、建築家安藤忠雄氏が大阪中之島に建築し、大阪市に寄贈、昨年7月に開館した「こども本の森 中之島」について話をさせていただいた。「図書館こそが本当の学びの場なんだ」、「知の牙城なんだ」と安藤さんはよくおっしゃっている。「子どもたちにとって図書館というのは、知識の玉手箱であり、そういうものを残したいんだ」と言われ、社会活動を今も大変一生懸命なさっている。

そういう意味でも図書館というものを大事にして、図書館活動を活発に行って欲しいという話をした。この日は夜に第5回の学校あり方勉強会もあった。重要な会議が1日にいくつもあって、少し大変な1日になった。

17日は市内4中学校の卒業式が行われた。各校長先生方から「みんな無事に卒業させていただきました」と報告を頂いた。18日は、市議会の総合計画審査特別委員会に出席した。19日は加西特別支援学校小中学部の卒業式があり、また、年度末の人事をめぐる臨時の校長会を持った。

21、22日にかけて、学校のあり方勉強会の一環として大分県九重町へ視察を行った。佐賀県の新鳥栖駅から大分自動車道を1時間半ぐらい走った湯布院温泉の隣にある九重町である。人口は1万人を少し切っており、加西市の人口の4分の1ぐらい。山あいの町で、以前に日本一のつり橋をかけた町として話題を集めた。ある意味で大分県は市町村合併の優等生と言われていたそうだが、九重町は合併を選ばずに自力で頑張っている町としてもよく知られている。当時、町内に4つあった中学校は現在1校に統合されている。それまでに、「2校にしよう」等いろいろな話があったが、それを結果

的に1校に統合し、「1つにするのなら、日本一の中学校を建てる」と宣言をしたという。その言葉どおり、建造物としても大変すばらしいデザインの中学校で驚いた。朝もやが町中を埋めるような山あい、文教地区のような地域を造り、そこに大変すばらしい中学校が建っていた。

中身も大変すばらしかった。入口を入るとすぐ正面に使いやすそうな立派な図書室がある。外側はコンクリート打ちっ放しの建物で大変モダンだが、あの辺りは日田杉が有名な地でもあるので、内部の壁や廊下は全部大分杉を使っている。椅子や机はどうしているのかと思って見たところ、私たちの子どもの頃のような木の机と椅子だった。「デザインというものは、人間の考えや思想を表現するものである」ということがひしひしと分かる建物であった。4人の教育委員さんも驚かれたと思う。トイレも大変美しく、本当にみんな行きたくなるというようなものだった。子どもたちはとても幸せなんだろうなと身を持って感じた。

23日は小学校の卒業式が行われた。24日は加西市のまち・ひと・しごと創生推進本部会議に出席した。ここで提案されたなかに、20歳から24歳ぐらいの若い女性の転出率が高いので、これをいかに減少させるかが命題だというのがあった。また、子育て世代の女性に愛されるまちづくりをしない限り、人口はどんどん減っていく。女性の活躍の場をもっとつくらなくてはいけないということが大変前向きに提案された。少し余談になるが、会議の前にもらった提案書に目を通して「今日は“女性がテーマ”なんだ」と思いながら出席した。「どういうメンバーが来ているのかな」と思って会議に出させてもらったら、その会議の出席者は私のほかは全員男性だった。部長が全員男性なので、今のところ仕方がないことではあるし、その場で市長も「今、努力している」とおっしゃっていたが、「女性がいてくれるまちづくりをとというのなら、もっと女性の声がかん出てくるような会議にしていだけないか」と、言わせていただいた。「女性だからいい、男性だから悪い」と言っているわけではない。女性であれ男性であれ一生懸命きちんと仕事をする人が、そういう場へ出てくるべきだと私は思っている。

25日は市議会最終日で、来年度予算を無事に可決して頂いた。28日は加西市美術家協会の総会に出席した。美術家協会もだんだん年齢が高くなり、若い人たちが入ってこないという悩みを抱えている。今年新しく入った1人の方は、イラストで活躍されており、その方が入ってから新しい部門を作られたという。また、時勢に合わせて新しくいろんなことをやろうとしており、勾玉教室のチラシが出ていたが、これは大変好評で、2日か3日ですぐにいっぱいになり、定員の3倍の応募が来たという。「コロナ禍ではあっても、何かおもしろいことがあればやりたい、と皆さん希望しているんだなと感じた」と会長さんが言われていた。

そして、本日朝8時半から令和3年度学校管理職研修会を行った。これについては後で課長も報告すると思うが、加西市初の試みである。我々を入れて40人ぐらいの出

席で、日渡先生の講義を聞いた後、熟議の形で行った。皆さんが意見を活発に出した上で、ではどうしていくのかという方向性を見つけ出せそうと話し合うことは、大変重要であり、うれしいことだと思った。今までにはなかったことなので、少しずつそんな雰囲気が出てくればと思う。1つ会を開くにしても校長先生方皆さんは大変お忙しい。年度末なので、本来なら欠席なさってもいいと思う状況ではあるが、新しい教頭先生、校長先生を含め、全員が出席され、午前中いっぱいの12時半まで大変活発に研修会が行われたことをご報告する。

学校教育課長

教育委員会の計画訪問とオープンスクール等の学校行事についての2点を報告する。あわせて学校管理職研修についても報告する。

まず、別紙配布資料に令和3年度教育委員の計画訪問とオープンスクール等の学校行事について一覧でまとめている。本年度は感染症対策のため計画訪問は実施できなかったが、来年度は計画をしている。あくまで案であり、修正もあり得ることはご承知おきいただきたい。これまでの教育委員さんの発言の中で、計画訪問という改まった場ではなく、自由なタイミングでふだんの様子を見て、可能であれば学校管理職や教職員と話をしたいという意見も承っている。この場では訪問予定ということで一応日程を示しているが、方向性を決めていただければ、各学校園にその旨を伝えたいと考えている。

また、そうした自由なタイミングでの訪問ということになると、オープンスクールを含めてどのように学校行事等の計画がされているかお知りおきいただいたほうがよいと思い、一覧表にまとめている。運動会、卒業式、学習発表会、音楽会、合唱祭、それからオープンスクールは、概ね午前中に地域の皆さん向けに開くということになっている。日程は変更となる場合もある。訪問の際には、学校へ開始時刻の確認をしていただきたいことと、どのような教育活動をしているかを含めて聞き取っていただきたい。そうすることで、訪問する際の目的に応じた参観ができると考える。

それから、先ほど教育長も申し上げたように本日午前中に学校管理職研修を実施した。16校の校長と教頭を合わせて2名ずつの32名が一堂に会して、加西市では初めての試みであった。16校32名のうち16名が新任校長、新任教頭である。学校経営に参画し主体的に関わることは初めてという者がたくさんいるので、この機会に教育振興基本計画でお世話になっている日渡先生から、どういう学校をつくるのか、どういう子どもたちに育てていくかという学校経営のある意味方略のようなものを研修いただいた次第である。8時半から12時半まで4時間かけて行った。これは兵庫教育大学で開発されたプログラムであり、まだまだプログラム内容は残っているので、また、引き続き夏あたりにも計画できたらと考えている。この辺りは学校の実情に合わせて計画を進めていきたい。

教育委員からの意見や質問及び回答

- ・教育委員の計画訪問については、教育委員になってから常々何でこんなにたくさん行かなくてはいけないのかと考えていた。今は働き方改革もあり先生方の負担も多く、もっと普段の子どもや学校の姿を見たいと思う。また、オープンスクールで自由に見るという仕方があってもいいのではないかとも思う。教育委員4人で考えて自由に行けたらと考えたりもして、計画訪問の見直しをしていただけたらと思う。
- ・私も同じ意見である。例えば計画している日に行くとなると、やはり少しかしこまったというか、計画訪問用の授業のように見えて仕方ないかなというのが私の感じたところである。そうした訪問ではなしに、実際にその場に行って、そのままの授業を見てみたいというのが本音である。いきなりではないが、できたら1日か2日前に連絡してぱっと行くというように本当の自然な授業を見たいので、こうした予定ではなく、こちらで独自に行きたいというのが私の考えである。
(こども未来課長の回答) どのような形がいいのかは教育委員からいろいろと提案していただいて、一緒に考えていけたらありがたいと思う。
- ・小野市は計画訪問がないと聞いたので、どのようにされているのかなと思う。もう少し見直しがあってもいいのではないか。今までのままでなく、もう少し自由な形があってもいいのではないかと考えるが。
(教育長の回答) 加西市がどうするかを考えていきたい。また、それについては前向きに話し合いをしていただくようにしたい。
- ・学校教育課長からの質問：ある程度学校行事等もあるので、日程については4月2日の校長会で提示したいと考えている。もともとは教育委員から日を定めて訪問したいという申出であったと聞いているのだが、変更があっても良いと思う。訪問については時代の流れや趣旨、狙いに合わせたらいいが、もう日程を外せばいいということであれば、その旨を全学校園に伝えたいと思う。まだまだ時間はかかりそうか。そうであれば、もう1か月待つよう伝えるが。
(教育委員の回答) 4人で考えさせていただきたい。
(他の教育委員の回答) 今日中に結論を出すのは難しい。最初の訪問予定は5月25日なのでもう1か月待ついただけたらありがたい。去年訪問させていただいて、とにかく準備物が大変というか、本当にいろいろなものを準備されていて、それはそれでまとめになるのかも分からないが、大変なご苦勞をさせていただいている。逆に、その時間は子どもたちや先生方のほうにお返ししていただくほうがいいのではない

かという思いを持ったのは事実である。ただ、全市の学校を見たいという気持ちもあるし、私の中で結論は出ないので、もう1か月待っていただけたらありがたい。(教育長の回答) 学校訪問は何のためにするのかということだろうと思う。そのことについて話し合いいただければ幸甚である。

教育委員会次長(文化財担当)

報告議案にあるように「歴史文化を生かしたまちづくり活動補助事業」の新設について報告をする。ちょうど1年前の3月定例教育委員会で加西市文化財保存活用計画の作成を終え、コピー刷りの分厚い冊子を配った。今年度は文化庁と協議を進め、12月3日付で文化庁へ地域計画を認定してほしいという申請を上げて、12月18日付で無事認定していただいた。新聞に報道が掲載されていたと思う。実際、地域計画というのは文化財を保存活用していくためのアクションプランになり、令和3年度から動いていくための指針になる。この地域計画の実践として、今回令和3年度から文化財関係の補助金制度を少し見直して、新しい補助事業を新設した。

資料には補助事業の募集要項を載せている。「加西市文化財保存活用地域計画では、未指定の文化財を含む全ての文化財を歴史文化遺産として位置づけ、まちづくりへの積極的な活用を目指していく」ことが趣旨になっている。今回新しく新設した補助金は、地域の団体及び個人が歴史文化遺産を継承していく取組に係る経費の全部または一部を、市の教育委員会が補助することによって、地域主体のまちづくりを推進していくことを目的とするものと定めている。

では、どんなものかというのと、補助金の対象となる事業として、アからカまでの6項目を挙げている。これはアクションプランの中でも掲げているが、調査、研究、学ぶ機会の創出、歴史文化遺産に関する計画立案や団体の立ち上げ、道具の修理、いわゆる魅力の発信事業、歴史文化遺産を活用した企画、ブランドの創出などこうした取組に対して補助をするものである。それぞれの項目の具体例も資料に掲げている。

来年度予算で当補助事業に対し100万円を計上し、先週の議会で議決を頂いたので、この要綱をもって進めていきたい。まず、活用事業へは、1団体上限10万円とし10団体ぐらいに出せたらと考えている。もう1つは美化事業。歴史文化遺産を維持管理のための掃除等を含めて1団体5,000円という金額だが、30団体程度へ補助を行う。

今回この地域計画が認定を受けたことに伴い、新しく補助金制度をつくったことを報告させていただく。

教育委員からの意見や質問及びの教育委員会次長の回答

- ・少しお尋ねしたい。補助金対象となる事業に活用事業と美化事業があるが、例えば1つの同じ団体で両方の補助事業を併用することはできるのか。

(回答) 活用事業をメインにしてもらいたい。併用で、美化事業でこれだけ、活用事業でこれだけ、というのではなく、活用事業の中に美化も含めて持ちかけたいと思っている。

- ・活用事業と美化事業が1, 2と分かれているので、何か個々の2つの補助金がある感じがするが、そうではないということか。

(回答) そのどちらも含めて活用事業である。この美化事業というのは、実は今までも管理のための補助金として4,500円を市から保存団体に出しており、全体で16万ほどになっていた。今回新たにまちづくりの活動補助として、美化事業をなくすのではなく、その分も含めながら新しい制度設計をしようと考えている。

- ・では、この予算100万円は、採択予定の10団体へ上限10万円ということで100万円と理解してよろしいのか。

(回答) そうである。ただし、美化事業についても今言ったように、30団体が出してくることがあれば、全体の中で少し調整をさせていただく。予算の範囲内であるので、案分するところも出てくるかもしれない。

- ・あくまでも予算の範囲内とすると、例えば手を挙げる団体が予定数よりも増えた場合どうなるのか。

(回答) 今考えているのは、案分して少し金額は減るが、できるだけ多くに出すようにしたいと考えている。

- ・では、その案分は6月下旬の決定のとき、全体の応募が出たときに考えるということではよろしいか。

(回答) はい。

- ・美化事業のことで少し分かりにくいのが、例えば草刈り機の刃や燃料を買うとか、またほうきやがんじきを買うというのは認められるが、ご苦労さまでしたというお茶代とかいうのは補助対象外となるのか。

(回答) 基本的には今までもそのようにやってきたので、そうである。

総合教育センター所長

総合教育センターからは3点報告させていただく。

まず、1点目に加西市中学生の自転車通学路の危険箇所について、定例教育委員会でご意見があったので、その調査と概要について報告をする。自動車の通行量が非常に多く路側帯が狭い危険箇所について各学校において調査し、結果をまとめている。

北条中学校区は中寺北条線、善防中学校区は県道 81 号の東剣坂町内、さらに県道 43 号の北条高砂線の善防信号から下里郵便局にかけて、それから加西中学校においては国道 372 号繁昌町の交差点から社寄り、それから市道中野鶉野線の鶉野飛行場をまたぐあたり、泉中学校区については、滝野市川線馬渡谷付近と別所信号から若井公会堂付近まで、殿原町内の県道 369 号大和北条停車場線、旧県道中北条線、県道 370 号線の野上滝野線の油谷町内の滝野に一部出て入るところが通学路になると思う。この箇所について白黒で少し見にくいのが写真でまとめており、危険箇所は各学校で聞き取りを行って分かっている。

加西市の整備状況については、善防中校区の小野香寺線西長町内は、片側ではあるが歩道の整備がされ、かなり拡幅されて完了している。これは兵庫県定める「通学路安全対策 5 箇年計画」にのっとり 20 年前からの要望がやっとかなったものである。それから、前回出していた自転車通行空間整備計画に上がっている自転車ネットワーク計画というものは、加西市では策定はされていない。なお、鶉野地区の飛行場と並行して走る新設道路に加西市初の自転車レーンの設置予定がある。あと、自転車専用通行帯もしくは車道混在で矢羽根型の路面標示等で自転車通行位置を設置するためには、道路幅が非常に要り、道路拡幅による通行区間の確保を図る必要がある。自転車の通行幅を 1.5 メートルにするとしたら、車両扱いのため左側通行、両側あわせて 3 メートルとなり、そして、車道片側一車線を 3 メートルとすると約 9 メートルの道路幅が必要だと加西警察から聞いている。

子どもたちの安全、命については、さきの議会においても議員から都市整備部へ要望を何度かしており、「応じよう」と言っている。教育委員会とても、教育長から都市整備部部长へこの情報を提供し、改善の要望と連携をしていく。なお、危険箇所に出ている滝野市川線の山田町から馬渡谷町は、日吉小から広がっているところはあるが、そこから先については歩道整備工事が計画済みであり、今現在用地買収の段階から行っているという。あと、議会でも出ていたが、市道中野網引線の拡幅工事等も進んでいる。

そして、教育長が都市整備部に情報提供と要望を行っているが、それと並行して市の都市整備へ地元住民からの声として、ふるさと創造会議のほうから都市整備部に要望を上げてもらうよう進めている。これについては、私の方からも各中学校 PTA 会長と該当地区の小学校 PTA 会長へ「どうぞ、ふるさと創造会議会長さんに要望を出していただいて、ぜひ上げてください」とお願いをしている。さらに、県道については県土木課の管轄であるが、都市整備部から上げるよう動いている。

なお、拡幅はなかなかすぐには難しいので、自動車ドライバーが認識しやすいよう、車道外側線が非常に消えかかっている路線について白線の塗り直しや改修の申出をしている。これについては、加西警察から加西市土木や県土木へ既に申入れをしていただいている。さらに、自転車通行を示す青い矢羽根マーク設置に関しては、現在県内

6市町村のみが自転車ネットワーク計画の策定済みであり、加西市でも自転車ネットワーク計画の策定をするように要望を都市整備部へ出している。これが策定されると、加東土木の管轄である県道においても、ここは自転車が通りますという矢羽根マークを車道外側線の内側に入れていける。これについて都市整備部からはさらに様々な検討をしながら進めていくという回答を頂いている。

さらに、路側帯とは違うが、善防中校区の歩道を広げていただいたところで、行きは左側通行でよいのだが、山下方面へ帰るのには、学校からは右側の歩道を通り、歩道が切れたところで、また横断して左側車線に移らなければならない、非常に危険な箇所がある。そこについては横断歩道の設置を要望している。

さらに、鶴野飛行場の交差点の紫電改の倉庫南手になるが、そこについてもガードレールが大変迫っていて危険な箇所があるとともに、大型トラック等工事車両の通行量が非常に多く、まだ子どもたちが巻き添えになる事故はないが、いろんな車両の事故が発生しているという。これについては警察も把握しており、東剣坂の1か所で信号設置の要望が新聞でも取り上げていたが、次の重要箇所として加西警察から公安委員会へ要望いただけるよう加西警察の交通課長に確認済みである。

2点目、総合教育センター年報（第10号）が出来上がっており、封筒に入れて教育委員のお手元に配付した。どうぞご覧の上、ご指導ご教授をよろしくお願いしたい。

それから、会議資料に載せていないが、小学校3、4年生で使用する社会科副読本「わたしたちのまち 加西」を教育長の手元に置いている。この社会科副読本はセンターの専門推進委員により原案作成の後、社会科担当者会等で校正し完成した。ふるさと加西を愛する子どもたちの育成のために、いい活用ができるようなすばらしいものが出来上がった。専門推進委員においては、水道局や加西市外も走り回って、あるいは兵庫県内のことも小学校3、4年生で勉強するため、遠くは香住まで出向いて取材し、より正しい情報を子どもたちに届けることに努めて作成している。当副読本は来年度から活用する。そして、さらにはクロームブック等に入れ、より有効な活用ができるよう考えている。

3点目、加西市のいじめ対応マニュアルについて。以前のマニュアルで不足していたいじめ未然防止等も含めて本年度はいろいろ改良を図りながら作った。各学校において、いじめには何と言っても未然防止と初期対応が命である。そうできるためにも、研修で活用してもらおうように呼びかけている。

最後に、小中連携教育推進ガイドブックというものを今年度作成した。これについては、平成27年度小中連携推進プランが完成し、それを基にしてきたものを改訂している。小中連携推進プランにより、中1ギャップの解消や小中学校の系統性のある学力向上、そして、小中教員の連携による教師力の向上を目指して行ってきた。中学進学への不安が少し薄まってきた等のアンケート結果が出ており、一定の成果が出ていることを受けて、さらに発展的に小中連携教育の推進ガイドブックと改名し作成した。

これは小中一貫校といった狭義ではなく、小学校と中学校の教育をうまく連携させ発達や学びに連続性を持たせることで、子どもたちの成長を促すという広い意味での小中連携教育についてのガイドブックである。後ろには、新学習指導要領に基づく9教科の指導連携シートを資料として載せている。さらに、小学校中学校の教師の連携を図るため、生徒指導系統表と集団づくり、児童会や生徒会指導系統表なども掲載し9年間の系統性を持たせてつくっている。

配布の冊子は非常に読みづらいところがあるが、実際これはデータとして保存しており、各小中学校で利用するときには大きく拡大して見るようになっている。小学校と中学校の教員がそれぞれ顔をつき合わせ、子どもたちの現在の発達段階を確認しながら、今何をしておくべきか、どういう形で中学校に送り出すべきか、あるいは中学校はそれを受けどういうふうに伸ばしていくかというための資料、また、たたき台といったものに活用してもらいたい。それで、発展的にガイドブックとして作成した。

教育委員からの意見や質問及びの総合教育センター所長の回答

- ・ 自転車通学の件に関していろいろと丁寧に調査し考えていただき感謝している。道が造られた当時とは環境も随分変わってきているし、以前からもいろいろな事故を聞いたりするので、早急に考えていくべき時期に入っていると思う。できるだけ前向きに考えていただいて、加西にやって来た子どもたちに「加西は子どもたちの住みやすい場所だよ」といえるような加西市でありたいと思う。どうかこれからもよろしくお願ひしたい。
- ・ 危険な箇所をいろいろと調べていただきありがたく思う。自分の息子もこの4月から中学1年生で、ちょうど東剣坂を通過して通学ようになる。また、息子と一緒に私もいろいろ見ていきたいと思う。もし何かあって報告したいときには、またよろしくお願ひしたい。調べていただき感謝している。
(回答) 学校の交通安全指導であったり、地域と連携した見守り隊やワッシュョイスクール、そして、PTAでの朝の立ち当番、教員も当然交通安全として子どもたちのために街頭に立つようにしている。しかし、今のふるさと創造会議の話もそうだが、やはりできれば地元の方から都市整備部の方に意見をどんどん上げていただくほうが、どうやら行政は話が早いようなので、どうぞよろしくお願ひしたい。
- ・ 通学路の件では、例えば九会小学校や加西中学校の場合、今まで村の中の細い道を通らないといけないというルールだった。三木宍粟線や国道は歩道が整備されたので、鶴野上の児童は小学校の信号まで歩道を通っている。あるいは下宮木、下宮木村町なんかは国道の両側に家があるが、国道西側は加西中まで田んぼ道を通ればい

いというように、町内の子どもによって分かれるが、より安全な道を選ぶよう柔軟に考えていただいてとてもありがたい思いをしたことがある。このたび危険箇所を調べて、とにかく危険の解消に向けて地域もろとも努力することがとても大事だと思うが、やはり時間はかかるので、子どもたちへ自分の安全を守るためどうすればいいかを指導する方もぜひお願いしたい。

もう1点、小中連携指導ノートはとてもありがたいと思う。小学校から中学校へどのようにカリキュラムがつながっていくのかというのは、なかなかできていなかった。そこへきちんとしたものを作っていたので、先生方がこれを十分活用すればより子どもたちの学力に響いていくと思う。ぜひこの苦勞を今後の子どもたちのために生かしていただきたいと思う。

- ・教育長の意見：この資料の文字はネットで見ればもっと大きく見れますということだと思うが、全然見えも読まれもしない。大丈夫か。
(回答) A3 形式で作っている。できればこれを大きく模造紙に貼ったり、今はいい機械があるので ICT 機器や電子黒板等使って、小学校と中学校の先生方でいろいろ書き込んで真っ赤になるぐらいに使ってもらえたら、いい活用の仕方ができると思う。
- ・今ガイドブックと小中連携の指導シートを見させていただいた。ひな形としてこれだけ作っていただければ、各学校がこれを基礎により改革していける。いいものを作っていたので、改めて発展していってもらうようご指導よろしくお願いたい。

図書館長

図書館から令和2年度特別整理期間中の蔵書点検作業結果について報告する。2月15日から28日までの特別整理期間の図書館休館中に蔵書点検を行なった。古くなったり、汚れたり、保存期間が過ぎた本、AV資料、雑誌、計1万8,591点と平成30年度の点検時に不明で、今回の点検でもなお不明であった97点との合計1万8,688点を除籍した。点検終了後の図書館の蔵書冊数は23万5,426点。

10 協議事項

なし

11 教育委員の提案

- ・新学指導要領になって1年がたち、その中の社会に開かれた教育課程の実現では「社会と連携、協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質、能力を育む」ということがある。現在令和3年4月に入るところで、ここで少しずつでもいいの

で地域と学校の間をより深めていっていただきたいと思う。去年も言ったと思うが、各小中学校の応援事業では家庭と地域がつながるというテーマがほとんどのところで掲げられている。これを見て各小中学校が実際地域と関わってやっているのかと聞いたときには、コロナもあったかも分からないが、その前の年もなかなか進んでいないと聞いている。令和3年度からは新学習指導要領にもあるように、もっと地域と学校を深めていけたらというところで1点提案がある。

年に2回程度開かれる学校評議委員会のメンバーを見ていると少しコミュニティスクールに向けた案に上がっているメンバーに近いように見受けられる。その中に学校評議委員さんも巻き込んでという言い方は悪いかもしれないが、一緒に学校を評価しつつ、地域と深い係わりを持っていただきたいというところで、学校づくり応援事業の目標を達成していただきたい。まず、メンバーの構成とか、応援事業をコミュニティスクールへの第一歩として達成していただきたいと提案する。

(総合教育センター所長の質問) 学校評議委員からのスムーズな移行ということか。

(教育委員の回答) 相談役ではないが地域の人にはかなわないということで、一変には多分無理なので、学校づくり応援事業を第一歩として地域との関係を深めて、達成していただきたいと思う。

(総合教育センター所長の回答) コミスクの話も出たが、コミスクについては前回規則の議決をしていただき、今年コロナで難しかったところはあるが、現在加西市では各小学校において地域人材が学校に来ていろんなことで勉強に関わっていただいているし、中学校においても未来塾を含めいろんな形で活用をしている。それで、コミスクと言っても、とりたてて何か新しくするというよりも、今加西市が行っている活動自体は他市には負けないというか、他市よりはるか昔から先進的に地域の人を巻き込んで行っているのだから、それを上手に評議委員制度を学校運営協議会へ移行しながら、委員がおっしゃる地域の人を巻き込んでやっていけると考える。これについては学校長が推薦することとなっているので、その判断は教育委員会も相談に乗りながら進めていくことになると思う。

- ・せつかくふるさと創造会議があるので、そのトップの人とでもいいので一緒に組めたら活性化していくと思う。これからは学校と地域の間を深め、先ほど言った社会に開かれた教育課程を実現していかなければいけないということなので、まずは学校評議委員と相談しながら、そして、学校評議委員だけでなく地域の方とも一緒になって応援事業のテーマを達成していただきたいと思う。

(学校教育課長の回答) 学校づくり応援事業のコミュニティスクールあるいは学校評議委員の在り方については、今所長が申し上げたとおり、さきの定例教育委員会で枠組みをつくっていただいたところであり、より学校の教育内容や運営について積

極的に支援していただく制度ができたと思う。それをどう動かしていくかということのひとつには確かに学校づくり応援事業を活用することがあると思う。

今の学校づくり応援事業は各学校の特色を出した取組である。例えば中川委員のいる賀茂小学校では大谷武一さんを含めたラジオ体操で、それをするときには、それに特化して作られた会の方々に応援していただく。つまり評議委員を経ることも大事かもしれないが、学校ではその専門性を持つ方に直接相談することを十分にしている。ハリマ王ニンニクの収穫体験についても、営農組合であるとか専門の方がいらっしゃる。そうした特色や専門性のある地域人材を掘り起こして教育していくというのが趣旨になっているので、学校評議委員さんとテーマを決めるというところはなかなか難しいかもしれないが、学校評議委員会でこういう特色ある取組をやっているという報告をしながら評価を頂き、それだったらこういう方法のほうがいいのではないかなという意見交流ができる場は持ってまいりたい。コミュニケーションスクールの設置を見据えて学校評議委員会の謝金については、このたび 3,000 円から 5,000 円に上げて予算決議していただいた。旅費程度の謝金となっていたので、回数を増やし、ひとつの機会として地域の方々のご意見が入るようには考えている。

次年度にはより特色が出る学校づくり応援事業とすること、その1つのキーワードが地域連携だと思う。中学校もこのたびのコロナの関係でかなり地域連携が取れていて、鶉野であるとか、町に帰っての美バースなど本当に今まで以上に地域に根差した取組ができた。その辺りを意識しながら、先ほど申し上げた4月頭の定例校長会では有効活用させていただくように話したいと思っている。あわせて、少し外れるが、教育長の方針もあり、この学校づくり応援事業をSDGsの視点から見直すことも大事ではないかということをごちらで検討しているので、あわせて考えたいと思う。ご助言に感謝する。

(総合教育センター所長の回答) 補足だが、学校と地域をつなぐ役割として地域学校協働活動推進員をコミスクの規則に織り込んだ。総合教育センターの専門推進員ならちよほど学校のことも分かるし、地域とのパイプ役になりながら、今おっしゃられたように人材の選定を含めて来年度以降動いてくれることになっている。

- ・ よろしくお願ひしたい。あと、学校評議委員会は毎年2回よりも、先ほど言われたように回数を増やしてより評価しつつ、地域と評議委員と学校の信頼を深めていただけたらと思う。

1 2 今後の予定について

- ・ 令和3年第4回定例教育委員会 4月20日(火) 14:00~1F 多目的ホール
- ・ 令和3年第5回定例教育委員会 5月26日(水) 14:00~1F 多目的ホール

1 3 その他

- ・先ほど教育長からもあったが、再度報告とお礼を述べたい。3月21日、22日に大分県九重町へ視察に行った。21日4時ぐらいに九重町へ到着し、前教育長から当時の合併もしくはそのままの学校の流れについて2時間ほどお話しいただいた。翌日9時から九重町の教育委員会の方がこれまでの流れと現状についてお話しして、資料を頂いた。その後、教育長も言われたこのえ緑葉中学校を見学した。素晴らしい学校だった。午後には野矢小学校を見学。九重町では中学校は4校を1校に統合したが、小学校はそのまま6校で存続させており、野矢小学校は中でも特に小さな学校で全校生が25名である。2、3年生と4、5年生がそれぞれ複式学校になっている。コロナ禍なのでリモートで2年と3年の授業風景を見せていただいた。その後、校長先生と複式学校のメリットとデメリット、現状等についてリモートで対談した。
いろいろな経験をさせていただき、これに関して九重町の前教育長、九重教育委員会、このえ緑葉中学校、野矢小学校の皆様にはコロナ禍の中で本当にありがたかったと思っている。そして、このような場を設けてくださった加西市教育委員会にもお礼を申し上げる。この中で私たちが習得したことや知識は、今後の加西市の学校のあり方へ少しでも活かしていけるように努力する。今後ともよろしく願いたい。
- ・先日の日渡先生の熟議について。私は熟議とはどんなものかあまり分からず緊張しながら出席したが、市長部局の方々、校長先生方などたくさん集まって、あのような楽しい熟議があるんだということを知った。いろいろなことを学んで、また、いろんな考え方があるんだと分かったし、とても勉強になった。ありがたく思っている。
- ・人事内示はこの後になるが、本当に長年教育委員会にお勤めになって31日付で退職される方、他部署に異動される方、学校現場に戻られる方もいらっしゃる。本当にお世話になり感謝している。また、立場は変わっても子どもたちのことや社会教育の充実に向けて、今後ともご指導ご鞭撻を頂けたらありがたいと思っている。この場を借りお礼申し上げたい。
- ・先日、私は保護者として小学校の卒業式に参加した。去年同様に来賓の方は来ないので、どちらかというと少し寂しいような卒業式になるのではないかと思っていたが、みんな笑顔で卒業していった。このような場をつくっていただき、感謝している。少し余談になるが、卒業していった子どものうち3、4人の男の子たちが、私の着けていたバッチを見ながら「あ、SDGsや、SDGs バッチかっこええな。僕も大人になったら着けたい」と言っていた。それで、子どもたちもみんなSDGsのことにと

でも興味を持っているし、一緒になって SDGs を理念に取り組んでいかなければいけないということをしみじみ思った。SDGs を理念に教育をして、いいものをつくっていったらと思う。卒業式ではいろいろといい思いをさせていただき、本当にありがたく思っている。

1 5 付議事項（非公開）

議案第 12 号 加西市教育委員会事務局及び学校その他の教育機関の職員の人事異動内示について

1 6 議決事項（非公開）

議案第 12 号 加西市教育委員会事務局及び学校その他の教育機関の職員の人事異動内示について

原案どおり可決

この会議録は、事務局員が作成したものであるが、真正であることを認め、ここに署名する。

令和3年3月29日

出席者

(出席者署名)